

大石地区
復興まちづくり協議会・地権者連絡会

平成26年11月30日(日)
13:00～14:30

次 第

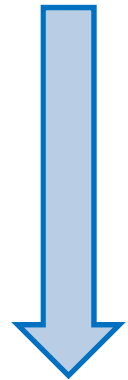
1. 市長からの挨拶
2. これまでの経緯
3. 聞き取り調査後の意見集約結果
4. 意見集約結果を見ての今後の方針
5. 前回提示した道路整備案の詳細図について
6. 事業実施スケジュール
7. 意見交換

1. 市長からの挨拶

2. これまでの経緯

平成26年7月6日(日)13:00~14:30

大石地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会



●東側道路の整備

道路施設 緊急車両が通行できる幅員5.0mで計画

避難路施設 緊急一時避難路として幅員2.5mで計画

●西側土砂崩壊防止施設の整備

浸水域を広げないため唐丹湾と同じ TP=14.5mで計画

●今後のスケジュール

上記の事項を説明した。しかし、

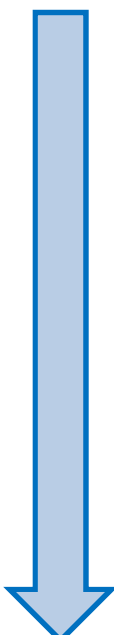
①計画の詳細が解らない。

②どれだけ協力すれば良いのかわからない。

③どのような影響があるかが解らない。

今回の説明では合意することはできない。

復興まちづくり協議会・地権者連絡会後の状況



- 各地権者に計画が所有地にどのような影響を与えるのかを説明

- 各施設を建設した時、現在の生活環境にどのような影響を与えるかを説明

- 個々の要望の聞き取り
(実現可能・不可能関係なく聞き取り調査)

皆様のそれぞれのご意見を聞き取り、意見を集約しました。
それをもとに今後の方針を決定したいと思います。

今回



3. 聞き取り調査後の意見集約結果



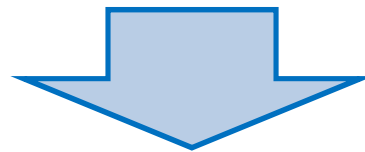
計画を実施するために土地の協力をお願いした。

■事業計画全体の地権者の方々の意見

- ・事業に協力できるので必要な土地を提供する。
 - ・残地を残されても困るので何とかして欲しい。
 - ・代替地を確保して欲しい。
 - ・漁業資材置場を確保して欲しい。
 - ・排水が悪くなるという不安を解消して欲しい。
- 等々

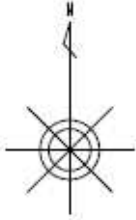
4. 意見集約結果を見ての今後の方針

- ①全筆が対象の土地は、具体的な用地交渉に入ります。
- ②詳細設計決定後、土地の買収面積を確定し用地交渉に入ります。
- ③残される土地の買収を希望される場合は、個々の状況にもよりますが全筆を買収することも検討します。
- ④代替地をご希望の方には、市が事業で買収した土地を適正価格で提供が出来るように調整します。



前回提示させていただいた事業計画案について、改めて合意をいただきたい。

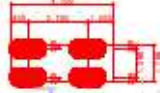
5. 前回提示した事業計画案の詳細図について



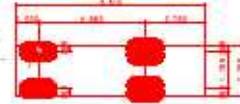
道路天端高 TYP=14.50m

対象車両：小型自動車

大石地区道路計画



対象車両：4t自動車

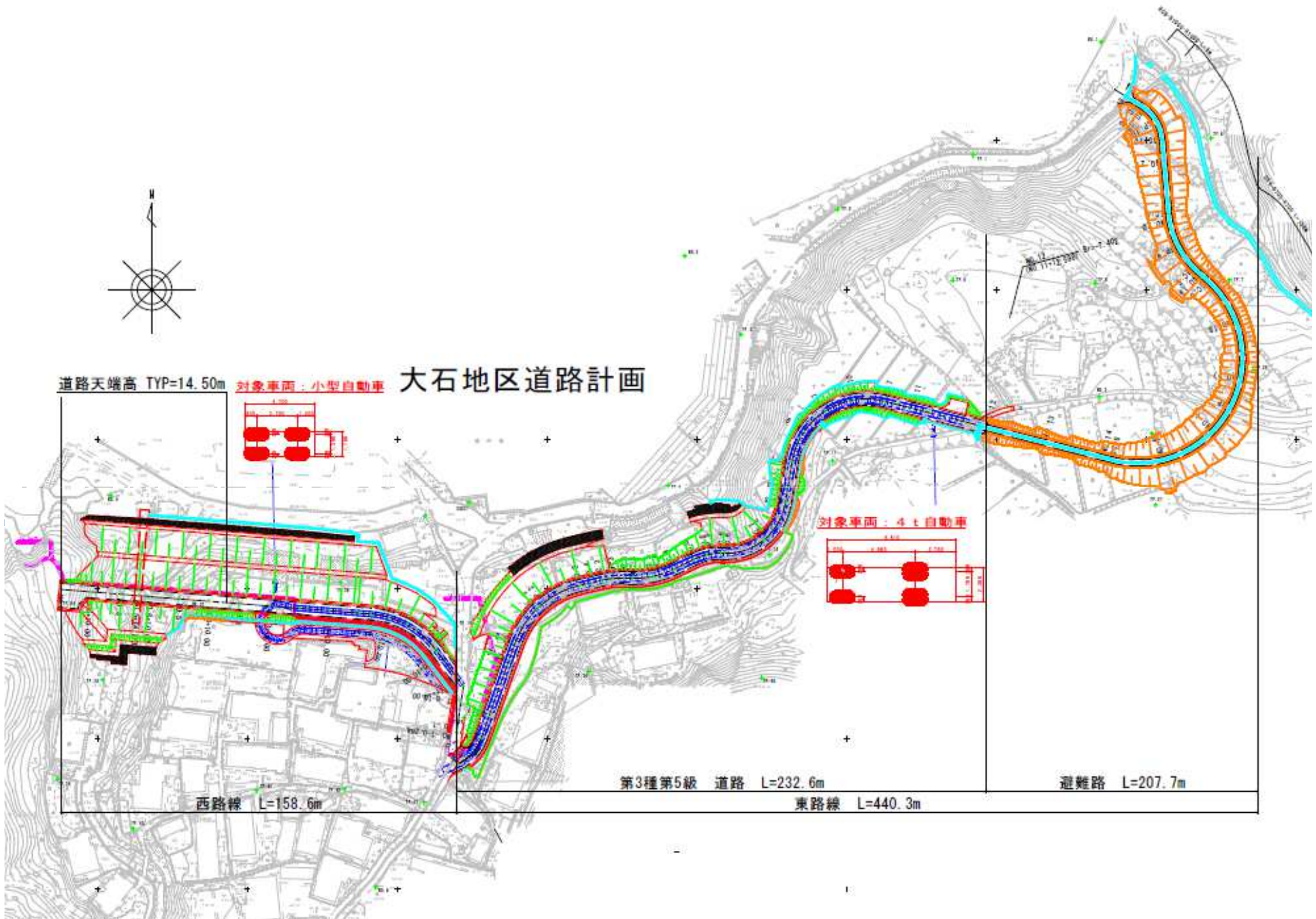


西路線 L=158.6m

第3種第5級 道路 L=232.6m

東路線 L=440.3m

避難路 L=207.7m



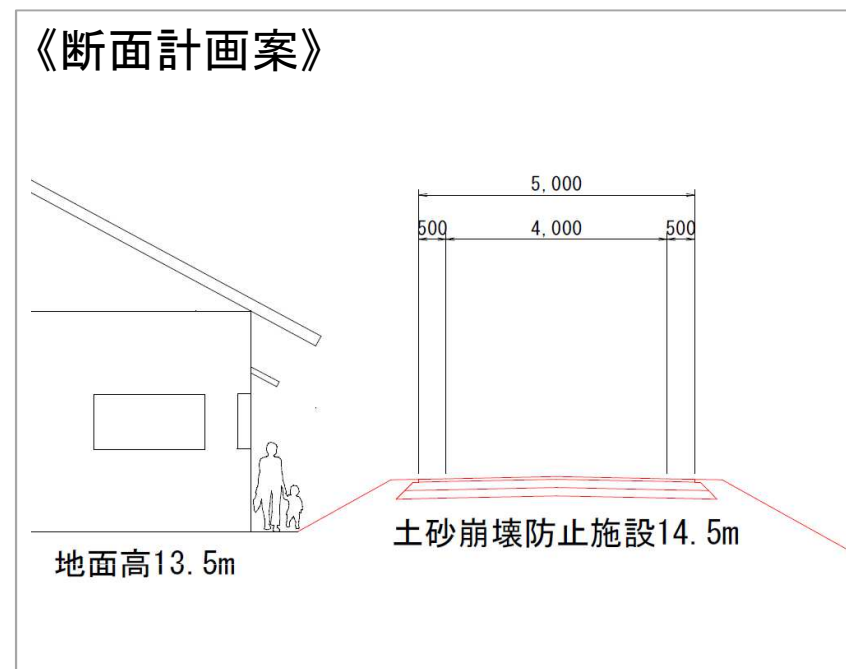
事業計画案について

(1) 基本設計の見直し

① 西路線(土砂崩壊防止施設)

- ・これまで、様々な施設計画高で検討
- ・津波浸水域を広げないため、計画高14.5mで見直し

(12.0mで景観等を考え計画をすすめてきましたが、唐丹湾の防潮堤を14.5mの計画高で検討していることから、高さを統一しない場合は大石地区に影響を及ぼす恐れがあるため14.5mで見直しをしています。図面が完成し次第津波シミュレーションを実施する予定です。)

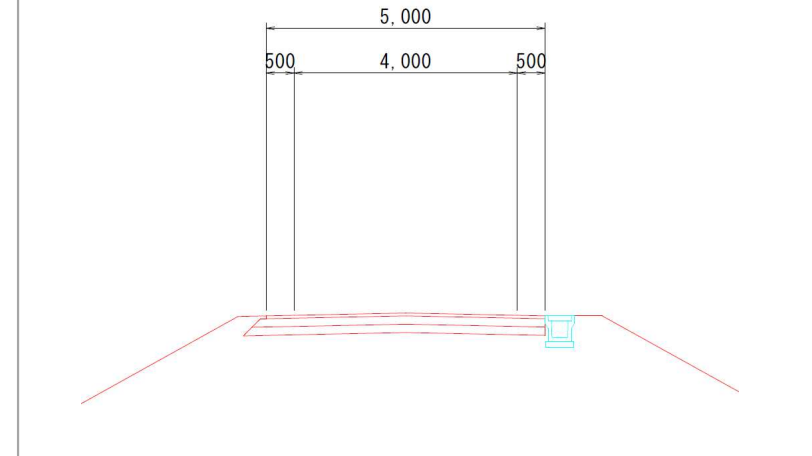


事業計画案について

②東路線(道路施設)

- ・緊急車両(4t車)が通行できる道路幅員5.0mで見直し

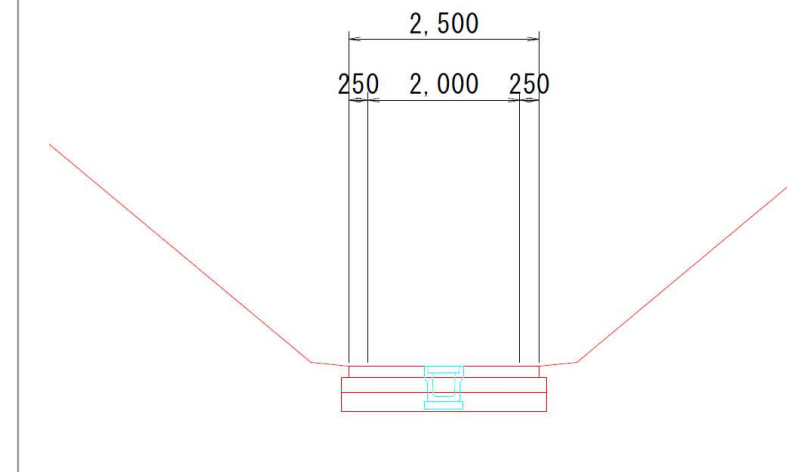
《道路幅員案》



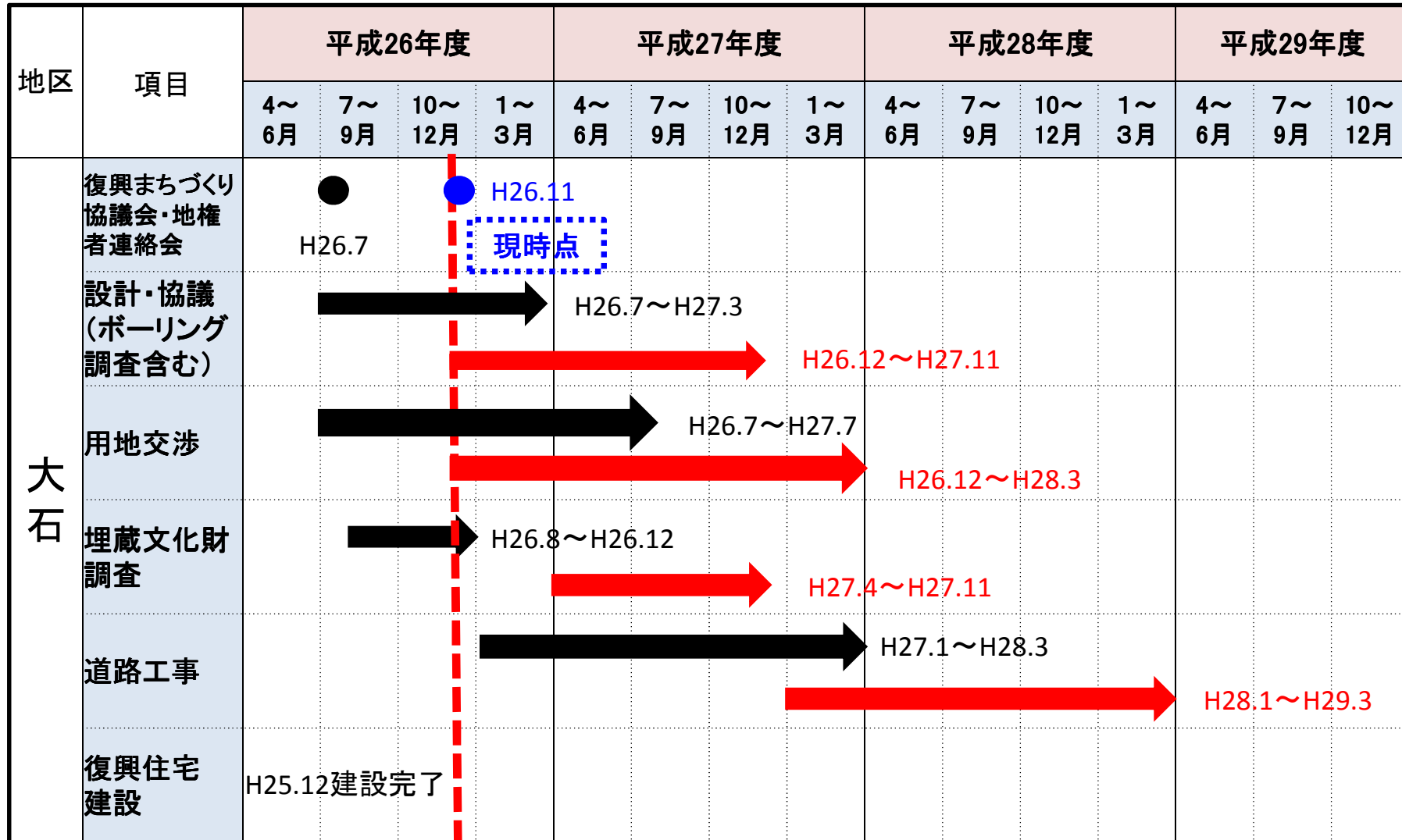
③東路線(避難路施設)

- ・緊急一時避難路として軽車両程度が通行可能な道路幅員2.5mで整備する予定
- ・詳細設計後、埋蔵文化財調査を予定

《道路幅員案》



6. 事業実施スケジュール【大石】



7. 意見交換
